

取り上げる紙面としては、スポーツ面を中心にして、社会面や第1面、教育面、生活面などがよいです。

スポーツは多くの子どもたちが興味を持っていますし、プロ野球ですと全試合の経過・結果の記事が翌日の朝刊に載ります。新聞によって取り上げ方に差があり、新聞社による違いを比べることができます。プロ野球の球団を持っていることで大きく扱っているかどうかを調べることもできます。また、同じ新聞であっても、東京本社発行版と大阪本社発行版とでは、大きく扱う球団、あるいは試合が異なるといわれていますが、ぜひ確かめてみたいですね。

教師は、「〇〇をきなさい」とよく口にしますが、「新聞を読みなさい」と言っただけでは、子どもたちが新聞を読むようにはならないでしょう。新聞を読むことの楽しさ、面白さを実体験させることです。

前回、記事を拡大コピーして掲示すると書きましたが、3倍～4倍に拡大すれば、本文の文字は1センチ大になり、1メートルほど離れても読めるでしょう。また、元の記事がどのくらいの大きさだったかを知るために、等倍（原寸大）のコピーも付けておきます。

どの紙面でも同じですが、記事の重要度は見出しの大きさ（何段見出しか）とその記事の位置でわかります。右上が1番重要なトップ記事、次が左肩の記事という順番です。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）

□